

少年の主張島根県大会
澤田煌明さんが青少年育成
島根県民会議会長賞を受賞

令和5年度「少年の主張島根県大会」で、澤田煌明さん（赤来中3年生）が青少年育成島根県民会議会長賞を受賞されました。

大会には、県内各地区から選ばれた16人が参加。澤田さんは、「私の存在証明」と題して、活弁の活動をテーマに、人との関わりの大切さを主張しました。

澤田さんは受賞できたのは、自分一人の力ではなく、地域の皆さんの助けや支えがあったからです。感謝の気持ちを伝えたいです」と話していました。



身振り手振りを交え、自身の想いを伝えます

9.28
木

広げよう地域の輪
頓原公民館まつり

交流センターとんばらを会場に「第18回頓原公民館まつり」が開催されました。ステージイベントでは、オカリナやサクソフ演奏、活弁、ダンスなどが披露されました。他にも、会場内では中学生によるeスポーツ大会、短歌や書道などの作品展示、骨密度測定、フリーマーケットなども催され、盛り上がりしました。

来場者からは「音楽の発表だけでなく、展示品も多く楽しむことができました」との声が聞かれました。



屋外にも飲食を中心とした出店がありにぎわいました

10.15
日

自分で作る楽しさを感じて
みんなの来島プロジェクト主催「みんきじカーニバル」

みんなの来島プロジェクト主催「みんきじカーニバル」が来島交流センターで開催されました。

会場には、花と雑貨、アクセサリ、コーヒーなどのお店が出店。ミニ盆栽やしめ縄づくり、お米の食べ比べなどの体験コーナーもあり、親子連れなど多くの人が来場し、体験や飲食を楽しみました。

今回のイベントには、飯南町主催の人材育成講座「ミライツクルプログラム」の受講者も企画したブースを出展し、来場者を楽しませていました。



プラモデル作りなど、集中して体験に取り組む姿が見られました

10.21
土

今、私たちにできること
道の駅赤来高原防災セミナー

道の駅赤来高原を会場に「防災セミナー」が開催されました。

このセミナーは、飯南町と相互協力に関する連携協定を締結している江崎グリコ(株)と道の駅赤来高原が共催。日本栄養士会の下浦専務理事とグリコの松浦管理栄養士が「栄養士目線での災害への備えの重要性」などを講演されました。

会場の外には、日本栄養士会災害支援チームの災害支援医療緊急車両や特別栄養食品などの展示も行われました。



参加者からは災害への備えの疑問や、展示された車両等への質問がありました

10.24
火

国税庁長官納税表彰
伊藤隆さんが受賞

(有)一福の伊藤隆さん(頓原)が「国税庁長官納税表彰」を受賞されました。

伊藤さんは、中国地方法人会連合会理事、(二社)島根県法人会連合会副会長、(公社)雲南法人会会長などを歴任。団体の活動を通じて、納税制度の普及発展に努め、納税道義の高揚に寄与されました。

伊藤さんは「法人会に携わり約30年。法人会の皆さんと努力してきたことが評価されて光栄です」と話していました。



10.25
水

秋晴れの志々を仮装で歩く
志々ハロウィンさんぽ

志々未来会議実行委員会と志々を元気にする会が主催する「志々ハロウィンさんぽ2023」が開催されました。

3回目となる今回は、思い思いの仮装に身を包み、大人から子どもまで約60人が参加。地区内を散歩する途中で、箱の中身を当てるゲームや、水鉄砲での当てをしたりと散歩以外の内容もあり参加者は盛り上がりました。イベントの最後には、さつき会館横の志々未来ひろばで、音楽に合わせてダンスを行いました。



仮装もダンスもかわいらしく

10.29
日

飯南町の歴史を振り返る
「飯南町ちよっと昔の思い出ばなし」

飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会が飯南町の歴史本「飯南町ちよっと昔の思い出ばなし」を発刊しました。

同会として3冊目となる歴史本は、飯南町の南北の両トンネルが開通した昭和30年代に焦点を当て、生き生きと暮らす人々の姿や、変わりゆくまちの様子を後世に残すことを目的に、同会の歴史文化部会が執筆されました。

多くの皆さんにご協力いただき、たくさんのお話や、昔懐かしい



執筆した歴史文化部会の皆さん



挿絵やイラストはラムネMILK堂の安藤夏樹さんが担当



いいなんナビからダウンロードできます

写真が集まり、大変貴重な歴史本になりました。

飯南町立図書館、町内公民館にて12月から貸し出しが可能になります。また、道の駅や大しめなわ創作館などでも閲覧することができます。ぜひご覧ください。